

# なら 賑わい通信

発行：奈良市中心市街地活性化協議会事務局

〒630-8586 奈良市登大路町 36-2

(奈良商工会議所内)

TEL：0742-26-1666

E-mail：narachukatsujimu01@yahoo.co.jp

URL：http://www.nara-cci.or.jp/chukatsu/

発行日：2010年11月10日

第35号



10月16日(土)午後12時から翌日午前5時まで、近鉄奈良駅・JR奈良駅周辺の中心市街地内でスペインの食文化を代表する「バル」を奈良のまちなかに再現し、お店が出す「ワンドリンク+各お店で趣向を凝らした1品(つまみ)」をハシゴして歩くイベント、第1回「あるくん奈良まちなかバル」を開催しました。

このイベントは、本年度で第5回目となる「あるくん奈良スタンプラリー」事業の一環として、当協議会が「まちなかバル」事務局となってバル参加各店舗との連絡・調整や、バルチケットの販売など開催日の約3ヶ月前から準備を進め、今回初めての試みでしたが関係者の協力を得て無事に終えることが出来ました。

当初、バル参加店の募集を7月の中旬から行い、締切を8月13日(金)までとして8月3日(火)に「事前説明会」を開催したところ8店舗しか説明会に来られず、目標としていた80店舗の1割しか説明会に来て頂けなかったことに危機感を感じ、参加店募集締切日を8月25日(水)まで延長し実行委員会参加団体からお声掛けをして頂き、最終69店舗のバル参加店が集まりました。

その後、「まちなかバル」本来の開催を市民の方々に

周知するために地元地域タウン誌などに掲載を依頼したり、10月1日には「市民だより」に、また同日市政記者室において記者発表を行いバル開催の周知に努めました。その結果、奈良新聞・読売新聞・朝日新聞・産経新聞などに記事として掲載して頂きました。

1冊3,000円(5枚綴り)の前売りチケットはバル参加店、ひがしむき商店街・もちいどのセンター街の両商店街事務所、および当中心市街地活性化協議会事務局にて販売しました。また1冊3,500円(5枚綴り)の当日チケットは三条通り南都銀行本店向いの特設インフォメーション広場にて販売し、最終的には前売りチケットは660冊、ネット事前予約分83冊、当日チケット34冊と合わせて777冊のチケットが売れました。16日のバル当日にチケットを使い切れなかった方のために、翌17日から21日まで「あとバル」という形でチケット1枚600円の金券として、あとバル参加店でご利用いただきました。

お店側からは『初めての試みのため、来られたお客さんを全て受け入れたかったが限定食分しか対応出来なかったのが今後の反省点と感じました』『大変楽しかったです、次回も是非開催して欲しい』と様々なご意見を頂戴いたしました。現在、実行委員会メンバーでもある奈良女子大学の方でお店側・お客さん側の声をお聞きする為のアンケートを回収し集計してまとめて頂いております。この集計結果については、改めて皆様にご報告させていただきます。



# 平成22年上半期(1月～6月) 県内延べ宿泊者数約142万人

県では先月(10月)、平成22年奈良県宿泊統計調査(今年1月～6月までの6ヶ月間)の結果が公表されました。

平成22年上半期(1月～6月)の県内延べ宿泊者は前年同期比で35%増の約142万人となった。

この内、推計値の75%が北和地域(奈良市の他4市5町1村)で占め、同地域は平城遷都1300年祭の開催による平城宮跡周辺の観光客数が大幅に増加していたのに反して、吉野山周辺など南部観光地は減少傾向であった。県は本年5月、7月に県内の旅館、ホテル、民宿などの宿泊施設547施設のうち287施設に宿泊者の動向を対象にしたアンケート調査を実施、内回収がおこなわれた施設は174施設で回収率は60.6%となった。

特に北和地域では、平城遷都1300年祭の開催による1月から始まった関連イベントにより全ての月で昨

年より増加しており、6月は倍増していた。3月下旬のイオンモール大和郡山の開業に伴う準備関係者の宿泊なども3月宿泊増の要因となっている。

定員稼働率を見ると、種別ではホテル、旅館、簡易宿所の順に高くなっている。また1月～3月の第1四半期に比べ観光シーズンに入った4月～6月の第2四半期には全種別ともに大幅に増えていた。

また客室稼働率についてもサンプル数の違いにより若干差はあるが、概ね平均定員稼働率と同様の傾向が見られた。

1人当たりの平均宿泊日数を見ると、概ね1.0を少し超えた数値となっており、1泊が中心であった。

また修学旅行宿泊数は105,353人で、前年同期と比べると約8割増となっている。北和地域では概ね倍増し、全県の修学旅行宿泊数の増加を牽引している。

詳細については県の下記ホームページを参照願います。

[http://www.pref.nara.jp/dd\\_aspx\\_itemid-54490.htm](http://www.pref.nara.jp/dd_aspx_itemid-54490.htm)

## 延べ宿泊者数の推移

平成22年上半期(1月～6月)エリア別・種別・月別延べ宿泊者数推計値

(単位:人)

エリア	種別	平成22年						合計
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	
A	旅館	36,027	47,585	75,680	98,453	135,073	113,518	506,336
	ホテル	48,612	61,582	94,198	102,242	118,388	99,340	524,362
	簡易宿所	872	1,677	5,327	5,535	13,932	9,953	37,296
	小計	85,511	110,844	175,205	206,230	267,393	222,811	1,067,994
B	旅館	4,727	5,590	12,602	17,036	20,631	12,404	72,990
	ホテル	5,584	7,209	10,234	12,238	13,427	11,697	60,389
	簡易宿所	111	204	1,412	1,559	2,406	975	6,667
	小計	10,422	13,003	24,248	30,833	36,464	25,076	140,046
C	旅館	2,664	3,089	4,227	4,938	4,249	2,557	21,724
	簡易宿所	409	1,649	4,690	8,117	11,419	8,915	35,199
	キャンプ場	227	247	670	1,288	3,177	1,386	6,995
	小計	3,300	4,985	9,587	14,343	18,845	12,858	63,918
D	旅館	2,442	1,892	7,325	20,215	16,171	10,599	58,644
	簡易宿所	479	710	702	1,186	3,348	1,532	7,957
	キャンプ場	41	0	124	673	10,468	1,869	13,175
	小計	2,962	2,602	8,151	22,074	29,987	14,000	79,776
E	旅館	4,396	4,720	6,274	6,923	8,533	5,194	36,040
	簡易宿所	813	904	732	615	1,380	571	5,015
	キャンプ場	0	0	0	-	-	-	-
	小計	5,209	5,624	7,006	7,538	9,913	5,765	41,055
F	旅館	2,044	1,732	2,114	3,625	4,705	2,777	16,997
	簡易宿所	177	68	464	128	784	282	1,903
	キャンプ場	291	116	211	758	4,310	1,085	6,771
	小計	2,512	1,916	2,789	4,511	9,799	4,144	25,671
計	旅館	52,300	64,608	108,222	151,190	189,362	147,049	712,731
	ホテル	54,196	68,791	104,432	114,480	131,815	111,037	584,751
	簡易宿所	2,861	5,212	13,327	17,140	33,269	22,228	94,037
	キャンプ場	559	363	1,005	2,719	17,955	4,340	26,941
合計	109,916	138,974	226,986	285,529	372,401	284,654	1,418,460	

出典:「奈良県宿泊統計調査報告書」より

各エリアの市町村一覧

A: 奈良市、生駒市、天理市、大和郡山市、香芝市、平群町、三郷町、王寺町、斑鳩町、広陵町、山添村

B: 大和高田市、橿原市、葛城市、桜井市、御所市、明日香村、高取町

C: 宇陀市、曾爾村、御杖村、東吉野村

D: 吉野町、大淀町、下市町、黒滝村、天川村

E: 五條市、野迫川村、十津川村

F: 川上村、上北山村、下北山村

※対象宿泊施設無し: 安堵町、上牧町、河合町、川西町、田原本町

# 「宿泊旅行統計調査」2010年第2四半期(4月～6月)の結果より

観光庁は9月29日、「宿泊旅行統計調査」2010年第2四半期(4月～6月)の結果を発表した。延べ宿泊数は9,511万人泊で、このうち外国人が701万人泊だった。宿泊数に占める割合は7.4%、国籍別では中国、韓国、台湾の順で上位3カ国で全体の4割超を占めている。

客室稼働率を全国平均で上回った都道府県は宮城県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、愛知県、京都府、大阪府、奈良県、広島県、福岡県、沖縄県の12都道府県だった。

同一施設における一人当たり平均宿泊数は、1.29泊、外国人の一人当たり平均宿泊数は1.53泊でやや長めとなっている。都道府県別に見ると、一人当たり平均宿泊数は沖縄県が1.60泊、東京都が1.48泊、京都府が1.46泊で、外国人の一人当たり平均宿泊数は埼玉県が2.26泊、京都府が2.19泊、東京都が2.05泊であった。

全国平均の客室稼働率は平均47.2%で旅館29.2%、リゾートホテル43.2%、ビジネスホテル58.7%、シティホテル69.4%、会社・団体の宿泊所26.9%。

この中で、客室稼働率はビジネスホテル86.4%、シティホテル86.8%、会社・団体の宿泊所も63.7%とそれぞれ奈良県がトップであった。他に旅館も38.0%で全国4位、全体でも6位という結果であった。これまでは従業員10人以上の施設が調査対象だったが、今回から9人以下の施設も対象に含めることとされたため前回までの調査結果の比較は発表されていない。

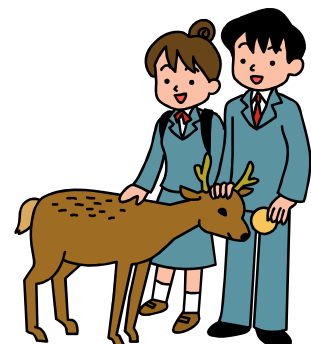
今回の結果から奈良の躍進は、平城遷都1300年祭開催による要因が大きいと考えられますが、これに甘んじることなく来年以降もリピーターとして奈良を訪れ宿泊していただくよう、関係者が努力していくことが大切であると思います。

参考ホームページ

<http://www.kankokeizai.com/image/2010pdf/>

20101023\_11.pdf

[http://www.mlit.go.jp/kankocho/news02\\_000064.html](http://www.mlit.go.jp/kankocho/news02_000064.html)



4～6月 客室稼働率(全体、施設タイプ別)

	全体	旅館	リゾートホテル	ビジネスホテル	シティホテル	会社・団体の宿泊所
全国平均	47.2	29.2	43.2	58.7	69.4	26.9
北海道	46.4	37.4	31.4	53.4	61.9	25.7
青森県	40.0	30.0	51.2	52.4	51.6	2.9
岩手県	39.9	29.0	40.2	52.8	59.5	-
宮城県	52.0	29.6	41.6	64.5	63.6	50.0
秋田県	42.5	35.4	45.2	51.6	51.9	26.3
山形県	39.1	30.5	25.4	50.1	59.5	42.5
福島県	36.9	28.2	37.4	50.6	59.9	22.0
茨城県	40.8	22.2	36.7	48.5	61.6	49.0
栃木県	43.7	35.9	50.8	53.4	60.2	39.2
群馬県	37.7	34.6	32.0	54.8	50.7	21.1
埼玉県	50.8	19.2	25.5	60.7	70.7	34.8
千葉県	56.4	23.0	65.5	60.9	76.8	36.6
東京都	69.3	38.3	49.7	73.4	77.3	25.6
神奈川県	54.6	42.5	61.2	64.8	70.1	37.5
新潟県	32.4	21.0	13.6	58.4	54.5	23.6
富山県	40.4	26.1	32.9	50.6	61.7	22.9
石川県	46.4	39.7	45.3	53.7	61.4	21.8
福井県	29.0	20.6	26.1	55.3	46.2	10.3
山梨県	36.0	31.0	46.4	50.8	61.6	24.0
長野県	24.9	17.6	26.0	55.7	65.2	11.4
岐阜県	40.5	29.8	46.7	56.6	58.6	48.4
静岡県	40.8	31.2	39.7	54.3	59.9	29.2
愛知県	52.7	27.7	41.8	55.3	71.2	50.0

	全体	旅館	リゾートホテル	ビジネスホテル	シティホテル	会社・団体の宿泊所
三重県	31.9	19.8	31.0	45.8	47.2	24.5
滋賀県	41.2	26.8	57.1	47.3	61.6	35.1
京都府	59.1	37.8	50.9	72.8	82.1	36.6
大阪府	65.7	21.9	57.9	65.6	78.1	49.8
兵庫県	45.6	28.8	50.4	64.3	70.3	30.9
奈良県	54.8	38.0	37.9	86.4	86.8	63.7
和歌山県	35.4	30.2	39.0	47.2	60.1	36.5
鳥取県	38.4	32.4	19.7	57.2	61.7	45.9
島根県	45.5	31.1	29.6	65.2	51.3	43.7
岡山県	40.8	27.7	30.5	49.2	56.0	27.8
広島県	60.4	37.3	45.9	73.2	67.5	23.7
山口県	44.1	33.4	37.4	50.5	55.0	19.8
徳島県	40.7	22.1	57.8	60.1	61.7	40.1
香川県	46.4	32.7	41.9	56.0	59.1	32.8
愛媛県	47.2	35.2	52.0	59.2	61.0	49.9
高知県	40.5	32.4	45.8	52.8	64.8	7.9
福岡県	53.1	21.8	47.9	57.3	66.7	39.8
佐賀県	42.8	30.7	33.7	55.5	42.3	31.2
長崎県	44.1	34.4	38.5	54.6	60.5	13.1
熊本県	42.1	31.5	47.0	50.4	63.8	25.9
大分県	41.7	32.6	53.6	46.6	59.1	47.4
宮崎県	44.3	24.9	40.3	52.8	64.3	-
鹿児島県	45.8	36.1	37.4	55.5	52.9	31.6
沖縄県	48.5	14.0	58.9	50.2	57.4	11.1

単位：%

# 第1回「奈良まちなか市場」の開催について

奈良市では、「第1回 奈良まちなか市場」を開催します。このイベントは、市長の「奈良マニフェスト」事業です。

## ◆「奈良まちなか市場」とは

郊外の大型店への消費の流出を防ぎ、商店街をはじめとする「まちなか経済」の振興を図るという奈良マニフェストに基づき企画された誘客イベントです。

奈良まちなか市場の目的は、郊外の大型店に流れた中心市街地の消費者を再び呼び戻すとともに、中心市街地で買い物をする機会の少ない西部地区等の振興地の方にも商店街を知っていただき、新たな消費を掘り起こすことです。

## ◆「第1回 奈良まちなか市場」について

### 1. 日時 平成22年11月13日(土)

午前10時～午後4時

### 平成22年11月14日(日)

午前10時～午後4時

### 2. 場所 奈良マーチャントシードセンター

(橋本町3番地の1)

### 3. 主催 奈良市

### 4. 内容 奈良地酒と奈良漬の展示販売をします。

「奈良の代表的特産品である奈良漬」、そして「奈良漬と切っても切り離せない酒」を「奈良まちなか市場」の第1回テーマとして選びました。

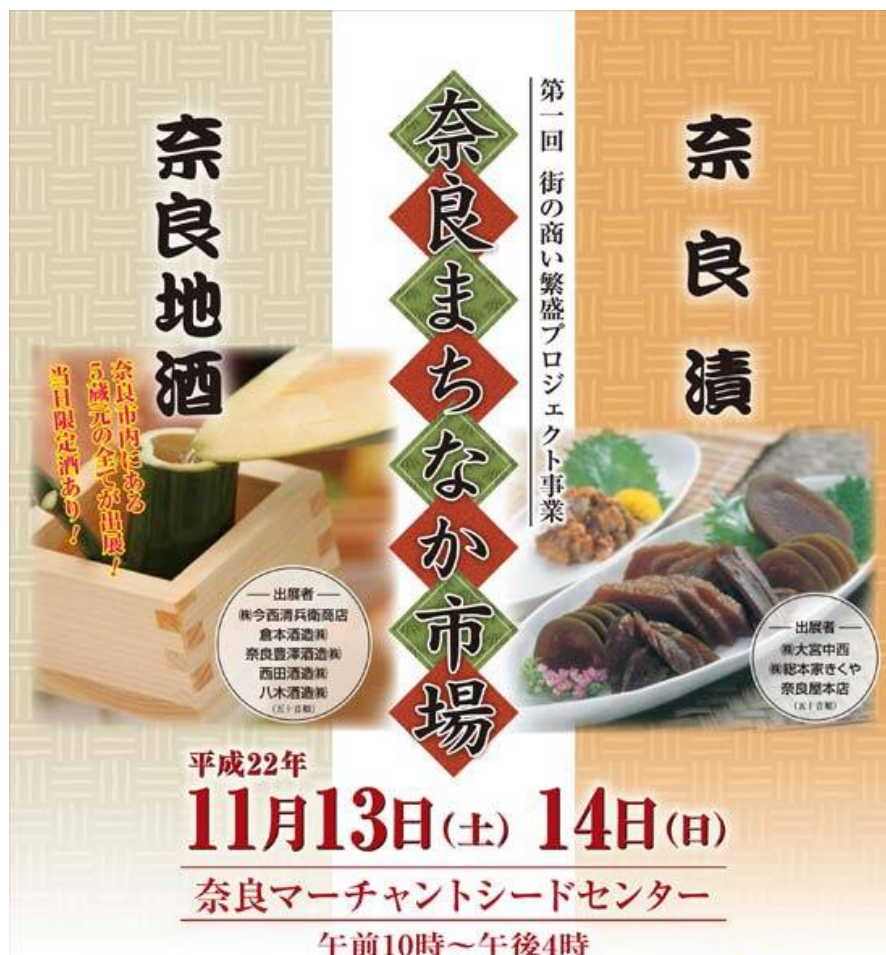
地酒については奈良市内5つの蔵元全て、また、奈良漬については市内の3つの製造元に出展していただきます。

なお、試食や試飲をしていただくコーナーを設ける予定です。

### 5. 目的 奈良漬はもちろんのこと、清酒発祥の地である奈良の地酒を広くアピールします。また、正倉院展終了後も、引き続き観光客を商店街へ呼び込んでいきたいと考えています。

## ◆第2回以降の予定

第2回は、平成22年12月4日(土)～5日(日)に、奈良商工会議所青年部と共催をする予定です。詳細は未定ですが、年度内に第3回も開催予定です。



第一回 街の商い繁盛プロジェクト事業

奈良地酒

奈良漬

奈良市内にある蔵元の全てが出展。当日限定酒あり！

出展者  
株今西清兵衛商店  
倉本酒造  
奈良豊澤酒造  
西田酒造  
八木酒造  
(共10名)

出展者  
株大宮中西  
株総本家きくや  
奈良屋本店  
(共10名)

平成22年  
**11月13日(土) 14日(日)**  
奈良マーチャントシードセンター  
午前10時～午後4時